

興讓

よっかいちしりつおおやちこうじょうしょうがっこう
四日市市立大矢知興讓小学校

こうちょう
校長だより

れいわ ねん がつようか
令和2年9月8日

No. 11

◇ 3年生：プログラミング学習にチャレンジ！！



8月28日(金)、3年生がタブレットPCでViscuit(ビスケット)というソフトを使い、8月から配置されたICTサポーターの支援を受けてプログラミング学習に取り組みました。初めに三角形の図や魚を画面上で動かす基本の操作方法を覚え、その応用として口を開け閉めするパックマンやゆらゆら動くおぼけの動きをどのようにすれば表現できるかを操作しながら考えました。最後は自分で描いた魚等の海の生き物を動かして、それを一斉に集めた水族館を前のスクリーンに表現しました。子どもたちはそれを見ながら自分の描いた作品を探し、見つけると「あった！」と喜んでいました。

◇ 5年生：稲刈り体験



残念ながら田植え体験ができなかった5年生ですが、8月31日(月)に稲刈り体験を行うことができました。子どもたちは片手で稲の根元を束ねて、もう片方の手に持ったカマで稲の根元を刈り取っていきました。刈り取った稲の束をコンバインまで運んでその場で脱穀してもらいました。子どもたちにとって貴重な体験ができたことでしょう。地域やJAの方々へたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

◇ 第2回避難訓練実施～地震から自分の命を守るために～



4日(金)、今年度2回目の避難訓練は、震度6強という強い地震が起こったことを想定した訓練でした。前日の訓練が雨で延期になり、予備日の4日もあいにくの雨で運動場への避難の訓練はできませんでしたが、教室で地震へ備えるための避難行動や運動場へ避難するまでの準備、そして避難経路を覚える訓練となりました。訓練前には、事前指導を各学級で行いました。

「緊急地震速報、地震です。命にかかわるぐらいの揺れがすぐに来ます」という緊急地震速報の放送を子どもたちはしっかりと聞き、机の下に体をまるめてダンゴムシのポーズをとりました。その後、地震の揺れが収まり、防災頭巾をかぶって廊下に静かに並ぶところまでの訓練を行いました。訓練のまとめとして、私から放送で、①避難するときは、第1回の避難訓練のときと同じく、「お・は・し・も」を守る、②地震のときは、特に頭を守ることが大事である、という2つのことを心にとめておくように伝えました。最後に大地震が起こったときに気をつけなければいけない津波について話をしました。もし、子どもたちが家に一人にいるときや登下校中のときに津波が来るとなった場合には、自分で安全な場所(高いところ)に逃げることで、そのためには、訓練のときだけでなく、日ごろから防災意識を持って、お家でも地震や津波が起こったときにどこに避難すればよいかを話し合っておくことが大切であることを伝えました。訓練後は各学級で事後指導として、訓練の振り返りや防災ノートを使っ

□ 8月31日(月)から9月25日(金)までの4週間、2年1組と5年2組で教育実習生2名を受入れています。2名とも本校の卒業生です。

□ 1日(火)、2名の職員が着任しました。1名は、2年2組担任の伊藤詩葉が17日(木)から産休・育休を取得するため、代わりに担任となる前田采音です。16日(水)までは週3日9時間、非常勤講師として勤務します。もう1名は三重県教育委員会から配置された学習指導員の稲垣妙香です。3月まで週2回8時間程度、いろいろな学級に入って授業支援や担任業務補助等を行います。

日々の子どもの様子を大矢知興讓小学校ホームページに載せて紹介していますので、ぜひご覧ください。スマートフォン等からもご覧いただけます。

◇ 検索 → [大矢知興讓小学校](http://www.yokkaichi.ed.jp/~ohyachi/cms2/htdocs/) <http://www.yokkaichi.ed.jp/~ohyachi/cms2/htdocs/>